

もくいく 森で木育も学ぼう！



茨木市里山センターへ行こう！



茨木市里山センターは、気軽に自然とふれあえる市民の憩いの場です。3月20日～11月30日までの期間(火曜日を除く)はバーベキュー広場が解放され、豊かな自然に囲まれながらバーベキューを楽しむことができます。また、里山に関する資料の閲覧や、木工体験、散策なども楽しめます。季節によって様々な体験イベントも開催しており、子ども連れに人気があります。

ファミリーを対象とした里山ふれあいオートキャンプ場もあります。



自然工作教室は毎月1回、第3土曜日に開催(内容は広報誌にて案内)

木工室・木工機械室では金づち・のこぎりなど、様々な道具を用意していますので、間伐材などを活用した加工品の製作ができます。

住所: 茨木市大字泉原 20 番 2

電話: 072-646-7531

利用時間: 9時～17時

休所日: 火曜日

(火曜日が祝日の場合はその翌日)

CO₂削減のために 森の木(樹木)を育て 木材を使おう！



森の木(樹木)は二酸化炭素(CO₂)を吸収して、酸素(O₂)を出し空気を光合成によってきれいにして、炭素(C)を森の木(樹木)に固定します。

樹木の光合成によって、地球温暖化防止になり環境を守ります。



未来のスーパーエコカー



ロボッカとミニッカ
ニサンカタンソをねんりょうにして
はしるみらいのエコ・カーだよ



「地球温暖化」とは、二酸化炭素などの温室効果ガスが増加することにより、地球全体の平均気温が短い年数のうちに急速に上昇してしまうことです。

発行 特定非営利活動法人さんさんご

〒567-0802

茨木市総持寺駅前町 1-3 クレール207号

TEL 072-657-8188

監修 島根大学名誉教授 山下晃功

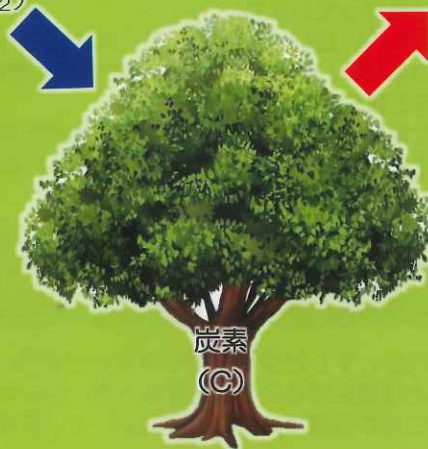
もくいく

木育ってなあに?!

樹木や木材をもっと知ろう

二酸化炭素
(CO₂)

酸素
(O₂)



樹木・光合成の三つのはたらき！

- ① 二酸化炭素(CO₂)吸収
地球温暖化防止になる
- ② 酸素(O₂)放出
空気清浄化(きれいになるよ)
- ③ 樹木の幹に炭素(C)を閉じ込めて
木材資源を作ります。



もくいく 木育って何をするの？

もくいく
木育は、難しそうに思われがちですが、実はとても簡単であり身近なことから始めることができます。

例えば・・・

- ・木のおもちゃで遊ぶ
- ・木の匂いをかぐ
- ・森を歩く
- ・木のある部屋で過ごす など

木に関わること
全てが木育



どんな効果があるの？

子どもは、生まれた時から五感（触覚・視覚・聴覚・臭覚・味覚）が備わっています。

そのため、遊びや生活の中で「木」に触れることは、五感の刺激につながり、思考力や判断力などを養う原体験（げんたいけん）になると言われています。

特に乳幼児は、知的・身体的・情緒的な発達や社会性を育むなど、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期とされ、木育による効果が期待されます。



原体験って？

現代は、テレビやインターネットが普及し、沢山の情報を得ることが出来ますが、その反面、事前に対する直接的な体験が減少しています。

五感を通した様々な体験は子どもに学びを与え、判断力や表現力、語彙力等を養う原体験となります。多くの原体験を経験することは、自己の形成や将来の学習の基礎につながり、子ども達の生きる力を育むと言われています。

～木や森をとおした原体験～

- ・木のおもちゃで遊ぶ
- ・木の実を食べる
- ・木の匂いをかぐ
- ・木登りをする
- ・森の中を歩く
- ・落ち葉で遊ぶ
- ・工作をする など



原体験は子どもを育む大地であり、実る力は未知数

イラスト提供：田口浩經
熊本大学大学院教育学研究科教授



成長に合わせたおもちゃ選び

年齢や月齢に応じた遊びや期待できるといわれる効果を紹介します。
子育て支援「さんさんひろば」では沢山の木のおもちゃで遊べます。

月齢・年齢	遊びの特徴	木製品	期待できる効果
0～6 か月	追視 物をつかむ なめる	がらがら(ラトル)	・物への興味を育む ・形の認識 など
6 か月～1 歳	はいはい つかまり立ち つまれた積み木 をこわす	積木 ミニカー 木琴	・手先の発達 ・形の認識 ・集中力や記憶力、 創造力、忍耐力の発達 など
1 歳～1 歳 6 か月	ひとり歩き 積み木をつむ	積木 ミニカー ブルトイ はめこみブロック	 
1 歳 6 か月～2 歳	歩きが安定 積み木で塔をつ くる 形がわかる	積木 手押し車 パズル	
2 歳～3 歳	ごっこ遊び	積木	
3 歳～	積み木で塔をつ くる	ミニカー ままごと道具	

※一例です

